



国際ロータリー第2630地区 岐阜 Aグループ
岐阜中ロータリークラブ

Weekly Report

クラブスローガン

伝統的日本ロータリーの文化を尊重
しつつ、新たな試みを果敢に実行する

2020-21 RIテーマ
ロータリーは機会の扉を開く

令和3年1月12日(火)

第1372回例会 第1286号

会長 三宅裕樹
幹事 篠田たつ彥
発行 公共イメージ委員会
例会 火曜日 12時30分
会場 都ホテル 岐阜長良川
事務局 岐阜市神田町2-2
電話 058-264-9235

必達！！第1例会出席率 100%

必達！！年間例会出席率 90%

会長挨拶

会長 三宅裕樹



本日の例会は今年最後の例会となります。コロナ禍の中でスタートした31期ですが、皆さんのお力添えを頂いて、過日の創立30周年記念式典を含むプログラムを執り行うことができましたことを御礼申し上げます。

本日のお話は、我がクラブが創立30周年であることと、本日の卓話が会計の話であることから、30年前と今日を比較したお話をしたいと思います。

本日の話題は「マネタリーベース」日本語で言えば「日本銀行通貨供給量」とでもいうのでしょうか？ 要は世の中にどれだけお金が出回っているかの話であります。実は、このマネタリーベースについては正直なかなか

統計の解釈が難しく、何をもって通貨供給量というのかについては、専門家の中でも様々な意見があります。しかし、今日は簡単に日本銀行の資料に基づきます。

当クラブが発足した1990年12月の数字を見ますと、43兆4790億円という数字になります。当時は海部内閣でした。これが令和2年9月では、587兆1,952億円と約13倍に膨れ上がります。日銀の白川前総裁の任期中2008年4月～2013年3月 当初88兆3,589億円 退任時が134兆7,413億円と約1.5倍であったのに対し、黒田総裁は就任から現在まで、約4.3倍になっており「異次元の金融緩和」がマネタリーベースからも見ることができます。

ちなみに1990年のGDPは、約437兆円。2019年が約553兆円と1.26倍になっただけです。実質ほとんど変わりません。一般論で考えれば当然「インフレ」が発生しても不思議ではありませんが、そんなに簡単に結論付けできないのが経済の難しいところでもあります。

上半期会計報告

会計 田中稔



会計より、上期中間報告をさせていただきます。収入と支出について、紙面に基づいて、説明をさせていただきます。基本的には、予定通りです。

友情と奉仕の灯を

スマイルボックス委員会

森井脩次君

12月12日に岐阜中RCゴルフコンペがあり、久しぶりに優勝しました。大変嬉しく思いました。次回もがんばります。

大橋哲也君

本日、東海テレビ「ぐっさん家」のロケで、平成調剤薬局本店と薬膳カフェみずときの食事がとりあげられました。

前例会の記録

第1371回

2020年12月15日(火)

[点鐘] 12時30分

[ソング] 我等の生業

[ゲスト]

[ビジター]

[出席] 会員総数30名(出席免除 7名)

本日出席17名 73.91%

[行事] 『上半期会計報告』

担当 会計

次回予定

第1373回

2021年1月19日(火)

[点鐘] 12時30分

[行事] ガバナー補佐訪問

新会員卓話

担当 会長